

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	1	佐藤 剛太	<p><u>スポーツを生かした地域活性化について</u></p> <p>1. 東北・みやぎ復興マラソン 2017 について</p> <p>(1) 開催地である本市の役割と協力などの関わりについて伺う。</p> <p>(2) 9月30日、10月1日は、駅前広場を活用し、本市に来訪する多くの参加者のために、地域の魅力を発信する催しなどを行い、地域活性につなげることが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>2. 交流人口の拡大について</p> <p>(1) 宮城県が 2020 東京オリンピック・パラリンピック参加国に向けた事前キャンプガイドを作成し、国内外の国際的な競技大会や五輪関係者が集まるイベントなどで配布しているが、本市が掲載されていないことについて見解を伺う。</p> <p>(2) 本市の気候や交通の利便性を活用し、観光とスポーツを組み合わせたスポーツツーリズムを積極的に取り組むことで、本市における交流人口拡大の柱になると考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) スポーツを通じた交流人口の拡大が、定住人口（定住者や二地域居住者）の拡大につながると考えるが見解を伺う。</p> <p>3. 老朽化施設の整備について</p> <p>(1) 朝日山公園の野球場及びテニスコートの整備についての見解と今後の取組について伺う。</p> <p>(2) 岩沼市陸上競技場の整備についての見解と今後の取組について伺う。</p> <p>(3) 地方創生拠点整備交付金などの活用が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>4. 岩沼海浜緑地の野球場について</p> <p>(1) 県の施設ではあるが、市民が大会等で優先的に利用できるようにすべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長 教育長
2	10	渡辺 ふさ子	<p><u>上工下水一体官民連携運営の検討（みやぎ型管理運営方式の構築）について</u></p> <p>1. 宮城県は広域上水道と下水道、工業用水の 3 事業一体化による官民連携運営を検討している。目的と仕組みについて、どのように説明されているのか伺う。</p> <p>2. 県は 2 月 9 日に第 1 回宮城県上工下水一体官民連</p>	市長

(続)	10	渡辺ふさ子	<p>携運営検討会を開催した。検討会は県企業局が管理する大崎広域水道、仙南仙塩広域水道、工業用水、さらに下水道まで視野に入れて、県が所有権を持ったまま民間業者に当該施設の運営を委ねるコンセッション方式と呼ばれるPFIの導入推進を目的としている。災害対応も含め、事業の持続可能性、安定性についての見解を伺う。</p> <p>3. 11月に厚生科学審議会生活環境水道部会、水道事業の維持向上に関する専門委員会の報告書が出され、民間業者が水道運営に関わることを前提にした料金原価の算定方式については総括原価主義とするとともに、総括原価に法人税や配当金などを含めることができることを明確にすべきであるとしている。</p> <p>民間が運営に関わることは、住民が支払う料金の中に企業の利益が含まれるということであり、料金が上がることを意味する。大企業の利益のために市民が犠牲になるのではないかと危惧するがいかがか。</p> <p>4. 中央の大資本が管理運営するコンセッション方式が導入された場合、地元業者への発注が大幅に減少したり中央の大手系列会社に仕事を独占される危険があり、地域経済への影響は計り知れないと思うがいかがか。</p> <p>5. 水道法は第1条で清浄・豊富・低廉をうたっている。</p> <p>水循環基本法第3条第2項では「水が国民共有の貴重な財産であり（中略）全ての国民がその恵沢を将来にわたって享受できることが確保されなければならない」とある。「非営利の公共サービスを営利の経済活動にしてはならない」と、県に意見を上げるべきではないか。</p>	市長
<p>教育の取組について</p> <p>1. 教育勅語について</p> <p>(1) 教育勅語に対する見解を伺う。</p> <p>(2) 教育勅語を学校教材として活用することを否定しないとする答弁書を安倍内閣が閣議で決め、菅義偉内閣官房長官は教育勅語を道徳教育に使うことも「教育勅語にそうしたこと（道徳を説いた側面）があり、そこは否定できない」「憲法や教育基本法に反しない形で教材として用いることは否定</p>			教育長	

(続)	10	渡辺ふさ子	<p>されない」との見解を示した。どのように解釈するか。</p> <p>(3) 市教育委員会として、道徳教育に教育勅語を取り入れる考えはあるか。</p> <p>2. 銃剣道について</p> <p>(1) 文部科学省が3月31日付けの官報で中学校の保健体育で「銃剣道」も選択できるとする新学習指導要領を告示したことについて見解を伺う。</p> <p>(2) スポーツ庁は「強制するものでなく、各学校の判断」との主旨を述べているが、市教育委員会として、中学校の武道に銃剣道を選択する考えはあるか。</p> <p>3. 教員の勤務時間について</p> <p>(1) 文部科学省が10年ぶりに実施した平成28年度の公立小中学校教員の勤務実態調査で、中学校教諭の約6割、小学校教諭の約3割が週60時間以上勤務し、厚生労働省が過労死ラインとしている月80時間以上の残業をしている結果が出ている。岩沼市の小中学校教員の勤務実態について伺う。</p> <p>① 勤務時間の実態はどうなっているか。</p> <p>② 過労死ラインを超える実態はあるか。</p> <p>③ 総合教育会議で「教員の児童生徒と向き合う時間の確保について意見を交わしました」とあるが、どのような意見が出たのか。</p> <p>④ 教員の児童生徒と向き合う時間の確保についてどのような対策を行っているのか。</p> <p>(2) 中学校の部活動指導時間について</p> <p>① 指導時間の実態はどうなっているか。</p> <p>② 適正な指導時間のために、どのような対策を行っているのか。</p> <p>4. 平和教育の取組について</p> <p>(1) 平和の尊さを伝える「被爆者の話を聞く機会」を学校教育の一環として取り入れてはどうか。</p> <p>(2) 原爆写真・パネルを購入し、学校教育に生かしてはどうか。</p> <p>(3) 平和への思いを深め体験できる、原水爆禁止世界大会や広島市に子どもたちを派遣する事業を行ってはいかがか。</p> <p>5. 命を育む自然環境の重要性の学びについて</p> <p>(1) 5月27日に新浜公園で第5回植樹祭が行われ、約3万本の苗木が植樹された。苗木の中には、愛</p>	教育長
-----	----	-------	---	-----

(続)	10	渡辺 ふさ子	<p>知県の子どもたちが岩沼のドングリを植えて育てた、たくさんの苗木が含まれていた。岩沼の子どもたちも「命を育む自然環境の重要性」を学び、実践することが豊かな教育につながるのではないか。見解を伺う。</p> <p>(2) ドングリの生態を学ぶ機会を学校教育の一環として取り入れてはいかがか。</p> <p>(3) ドングリを拾い、育て、苗を植える植樹活動を学校教育の一環として取り入れてはいかがか。</p>	教育長
3	3	高橋 光孝	<p>市域全体の均衡ある発展について</p> <p>1. 西部地区の発展に向け、具体的な構想はあるのか伺う。</p> <p>2. 志賀沢川の河川改修・整備計画はどのようなスケジュールで進んでいくのか伺う。</p> <p>3. 県道岩沼蔵王線の長岡エリアの未改修部分の今後のスケジュールについて伺う。</p>	市長
4	9	須藤 功	<p>市道朝日2号線拡幅について</p> <p>1. 拡幅の工程について伺う。</p> <p>2. 拡幅範囲の内容について伺う。</p> <p>3. 長岡側の橋は現状維持で歩道だけを増設すると聞いた。一緒に改修してほしいがどうか。</p> <p>4. 丸沼堀にかかる橋の拡幅は、どのように考えているのか。</p> <p>5. 拡幅後の通行量をどの程度増えると予想するか。</p> <p>6. 市道武隈線と市道武隈中央線の交差点が渋滞している。解消できないか。</p> <p>7. 市長が目指す「いわぬま未来構想」や「都市計画マスタープラン」は、市道朝日2号線に位置づけることはあるか。</p>	市長
			<p>亘理地区行政事務組合との広域連携について</p> <p>1. 消防広域化に係る協議会の設立について、全員協議会で説明があった。亘理地区行政事務組合は消防と火葬場が連携している。火葬場も一緒に連携することはできないか。</p> <p>(1) 広域事務組合へ消防に係る広域化のメリットは何か。</p> <p>(2) 広域事務組合へ消防に係る広域化のデメリットは何か。</p> <p>(3) 火葬場も広域化に加入した場合のメリットは何か。</p> <p>(4) 火葬場も広域化に加入した場合のデメリットは</p>	市長

(続)	9	須藤 功	何か。 2. 広域連携は『広域化する行政ニーズ』の課題を解消しつつ、市民サービスの充実にならないか。 3. 広域連携を強化することを、検討すべきことではないか。	市長
5	15	飯塚悦男	フードバンク活動について 1. 家庭や農家、食品会社などから食料を分けしてもらい、生活が苦しい方に無償で配付する「フードバンク活動」が、全国的に広がっています。 店舗に出せない商品や家庭で保存されている缶詰などを集め、親と一緒に生活ができない子を預かっている福祉施設や生活が苦しい家庭に配付することで、食事ができない方を助けることになる上、食料を無駄にしないで済みます。日本では、無駄に廃棄される食料が年間 632 万トンもあり、国民一人当たり毎日茶碗 1 杯分の食べ物を捨てていることとなります。 世界に目を向けると、9 人に 1 人の約 8 億人は栄養不足といわれており、5 歳までに亡くなってしまう子は、年間 500 万人もいるそうです。 日本は、多くの食料を外国から輸入しながら、食料を大量に廃棄しています。 国では、生産者や消費者に呼びかけ、廃棄される食料を削減しようとしています。 (1) フードバンク活動について、市長の考えを伺う。 (2) フードバンク団体との連携について、市長の考えを伺う。	市長
6	2	菊地 忍	防災・緊急情報システムについて 1. Jアラート（全国瞬時警報システム）の運用はどのようなになっているのか。 2. Lアラート（災害情報共有システム）の運用はどのようなになっているのか。	市長
			今後の行政運営について 1. 自治体に代わってPPP（公民連携）を進める民間組織でもあるPPPエージェントを導入してはどうか。 2. これからの行政運営における雇用の創出について伺う。	市長
			教育現場でのホームページの活用について 1. 各学校のホームページ更新の現状について伺う。 2. SNSを活用し、リアルタイムに更新をしてはど	教育長

(続)	2	菊地忍	うか。 3. ブログの活用を検討してはどうか。	教育長
7	7	布田恵美	<p>グリーンピア岩沼のさらなるにぎわいのために</p> <p>1. 多くの市民に愛されているグリーンピア岩沼のさらなるにぎわいを考え、そして郷土愛を育む施設としての活用を果たすことが当市の住みやすさの向上につながると考える。</p> <p>(1) 現状の認識を伺う。</p> <p>(2) 利用者の声はどのようなものが届いているのか。</p> <p>(3) 昨今、幼児の自然体験を初めとする体験活動の欠如が指摘されており、それを補うような、乳児・幼少期の子どもたちへの自然体験の機会を提供しようとする取組「森のようちえん」がある。</p> <p>① グリーンピア岩沼の自然環境を生かして「森のようちえん」として整備、活用してはどうか。</p> <p>② 「森のようちえん」の取組は市民の生きがいづくりにも大いに役立つ活動になると想定される。既存の市民団体との協働・連携や新たな人材育成も実施して幅広い方々に参画していただくことで、これからも多くの市民に愛される施設として、より活性化できるのではないかと思うがどうか。</p> <p>③ 成長を見守り観察することによって、子どもたちの自然観察の学習が深まると思うがどうか。</p> <p>④ 年間を通して自然観察学習、交流の場、コンサートなど施設内で計画する事業を生涯学習活動の一環として行い「森のようちえん」プログラムとして進めてはどうか。</p> <p>⑤ 幼少期にその環境になじんだ子どもたちは、その後も折に触れ、家族や友人たちと施設に立ち寄り、思い出とともに次の世代に岩沼の宝として大切に伝えていくのではないかと思うがどうか。</p>	市長 教育長
			<p>旧公設小売市場跡地の活用について</p> <p>1. 市政報告で跡地を活用する新しい施設に対して、地方創生拠点整備交付金の決定を受けた旨の報告があった。それに先駆けて、5月22日の議員全員協議会において、「地域社会活動・地域コミュニティ形成支援施設の検討状況について」として同施設の基本</p>	市長

(続)	7	布田 恵美	<p>設計案が示された。</p> <p>(1) 平成 29 年度着工、30 年度完成の計画と聞いているが、管理・運営について、どのように選定していくのか。</p> <p>(2) 駅にほど近い立地条件から、多くの方が関心を寄せる施設でもあり、利用に期待を寄せる方の声も多数耳にする。その中で、夜間に定期的な軽運動ができる拠点として望む声もあるが、示されている計画設備上、利用は可能か。</p> <p>(3) 備品としてピアノなどの楽器を設置する部屋はあるのか。</p> <p>(4) 施設の利用時間などはどのような計画で進んでいるのか。</p>	市長
8	4	植田 美枝子	<p><u>スマイルサポートセンターの今後のあり方について</u></p> <p>1. スマイルサポートセンターの今後を、予算を含めてどのように考えているか。</p> <p>2. 心のケアはとても大切な事業です。いつまでと考えているか。</p> <p>3. 公益社団法人青年海外協力協会（J O C A）が羊を飼っていて、今、12 頭います。平成 29 年に J O C A と交わされた契約の内容はどのようなものか。また、何年の契約か。</p> <p>4. 復興のシンボルのようにマスコミに取り上げられている羊の今後をどのように考えているか。</p>	市長
			<p><u>災害危険区域の活用について</u></p> <p>1. 市が買い取った土地の総面積はどれほどか。</p> <p>2. 現在、活用しているのは何%ぐらいか。</p> <p>3. 点在する買い取り地を利用しやすいように集約する考えはあるのか。</p> <p>4. 今、提案されている活用事業はあるのか。</p> <p>5. 今後は維持費のかからない事業を展開するべきと考えるがどうか。</p> <p>6. 2 基の風力発電が稼働しているが、災害危険区域の有効活用と景観改善を目指すのであればもっと多くの風力発電があったほうが良いと考えるがどうか。</p>	市長
			<p><u>保育所の民営化について</u></p> <p>1. いつごろの民営化を考えているか。</p> <p>2. 民営化によって目指すのは何か。</p> <p>3. 民営化にするメリットをどのように考えているか。</p> <p>4. 保育所の民営化で、移管先の選定が重要と考えるがどうか。</p>	市長

(続)	4	植 田 美枝子	5. 保護者の意向を把握したり、現場の声をまとめた りするために、推進協議会のようなものを立ち上げ てはどうか。	市 長
			<u>亀塚住宅の跡地の利用について</u> 1. 市政報告に9月下旬には更地になる予定とあるが、 事業者の募集に向けてのスケジュールと建設に向け てのスケジュールを具体的に示して欲しい。 2. 多くの事業者の提案をいただける努力が必要と考 えるがどうか。 3. ヒアリング調査及び市民から寄せられた意見等を 踏まえて計画案をまとめるとあるが、どのような意 見が寄せられたのか。	市 長
9	13	布 田 一 民	<u>地方創生による行財政制度の改革の必要性</u> 1. 地域と住民ニーズの多様な変化の対策を伺う。 2. 行政組織の政策を伺う。 3. 受益と負担の乖離の対策を伺う。 4. 新たな住民参画の政策を伺う	市 長
10	5	佐 藤 淳 一	<u>岩沼市民バスについて</u> 1. 市民バスの現状と課題について (1) 市民バスの現状について伺う。 (2) 現在運行されている市民バスの課題はどのよう なものか。また、その課題をどのように捉えてい るのか伺う。 2. まちづくりと市民バス運行について (1) 歩いて暮らせるまちづくりと市民バスの運行の 関連性はあるのか伺う。 (2) 中心市街地活性化等、まちの活性化へ市民バス 運行をどのように貢献させていくのか伺う。 3. 今後の市民バスのあり方について (1) 市民バスをこれからも持続可能な公共交通の一 つとしていくため、どのような取組を考えている のか伺う。 (2) 納税者(市民)、利用者(市民など)の市民バスへ の意識啓発、参加(利用)支援についての考えを伺 う伺う。 (3) 市民バスの効率的な運行と事業評価、運行の見 直しについて伺う。	市 長
			<u>工業団地の復興と今後について</u> 1. 東日本大震災で被災した工業団地の被災状況と現 状について (1) 東日本大震災により、どの程度の損害があった	市 長

(続)	5	佐藤 淳一	<p>のか伺う。</p> <p>(2) 震災前と震災後の企業数、従業員数等の変化について伺う。</p> <p>(3) 被災した工業団地から、どのような要望があり、どのように対応してきたのか伺う。</p> <p>2. 東日本大震災で被災した工業団地の今後について</p> <p>(1) 大震災による津波で甚大な被害を受けたにもかかわらず移転することなく岩沼に残ってくれた企業や、震災後に被災地へ進出してくれた企業が立地する工業団地は、震災復興のトップランナー岩沼の象徴の一つであると考えているが、どのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 復興事業などでインフラの復旧・整備が進んでいるが、今後の企業誘致への戦略的な取組の一環として、既存工業団地の環境整備をさらに進め、岩沼の企業対応へのイメージアップを図ることも必要ではないかと考えるがどうか伺う。</p>	市長
11	14	長田 忠広	<p>高齢者支援について</p> <p>1. 介護保険推進全国サミットについて</p> <p>(1) サミット開催に向けての決意を伺う。</p> <p>(2) 3点の開催コンセプトを掲げている。そこで、コンセプトをもとに現在の進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 平成28年9月議会で「市民講座を開催するなど、市民参画型のサミットにすべき」と提言した。そこで、市民参画型の大会にするためにどのように進めてきたか伺う。</p> <p>2. 有償ボランティアについて</p> <p>(1) これまで介護支援ボランティア制度導入を提言してきたが、どのように検討されたか伺う。</p> <p>(2) これまで高齢者の困りごと支援対策を提言してきたが、現状を伺う。</p> <p>3. 介護予防事業として実施しているお買い物ミニデイ事業を小学校区に拡大してはどうか伺う。</p> <p>4. 27年9月議会で「被災地の買い取り土地の有効活用について、介護予防の一環としてパークゴルフ場等の整備」を提言したが、進捗状況を伺う。</p>	市長
			<p>疾病予防等について</p> <p>1. 医療費の支払い方法について、28年9月議会で「心身障害者医療費助成や母子父子医療費助成について、現物給付への変更」を提言してきたが、進捗状況を伺う。</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>1 4</p>	<p>長 田 忠 広</p>	<p>2. 子ども医療費助成制度の対象年齢を高校 3 年生まで拡大してはどうか伺う。</p>	<p>市 長</p>
			<p>防災について</p> <p>1. 7月9日の総合防災訓練について</p> <p>(1) 昨年11月26日開催の訓練を踏まえ、今年度特に取り組む課題は何か伺う。</p> <p>(2) 避難所開設訓練をどのように進めていくか伺う。</p> <p>(3) 要配慮者等の避難誘導訓練をどのように進めていくか伺う。</p> <p>2. 浸水対策の1つとして、各地域に土のうステーションを設置してはどうか伺う。</p> <p>3. 27年9月議会で「井戸水等を活用した施策」を提言しているが、どのように検討しているか伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>1 2</p>	<p>8</p>	<p>酒 井 信 幸</p>	<p>防災等について</p> <p>1. 洪水ハザードマップの浸水想定区域の見直しについて</p> <p>(1) 宮城県は千年に1度の豪雨を想定して河川の洪水浸水想定区域の見直しを進めていくとしているが、このことについて岩沼市と県との連携について伺う。</p> <p>(2) 新しい岩沼市洪水ハザードマップでは、阿武隈川流域に2日間での想定総雨量を316ミリとしているが、今回の県の見直しでは、上流の白石川を282ミリから465ミリに引き上げている。今後の対応について伺う。</p> <p>(3) 平成28年第5回定例会において「平成8年のときの浸水深、今度出すハザードマップの浸水深。例えば区画整理であるとか宅地開発で地盤が変わったようなところについては変更があるかと思いますが、大きな違いはないというふうに認識しております。」と答弁があったが、県が想定総雨量を2倍に引き上げたことで、新しい岩沼市洪水ハザードマップの浸水想定区域が変わらないのか伺う。</p> <p>2. 岩沼市総合防災訓練について</p> <p>(1) 来月の総合防災訓練に町内会・自治会は何団体参加する予定なのか伺う。</p> <p>(2) 町内会・自治会の避難計画はどのようにしているのか伺う。</p> <p>(3) 昨年の総合防災訓練においていくつかの問題点</p>	<p>市 長</p>

(続)	8	酒 井 信 幸	<p>が指摘されたが、改善点を伺う。</p> <p>(4) 今後は、阿武隈川の堤防の決壊を想定した避難訓練を行うべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>3. 避難場所について</p> <p>(1) 内閣府が29年3月に「指定緊急避難場所の指定に関する手引き」を発表したが、岩沼市には通知されているのか伺う。</p> <p>(2) 「指定緊急避難場所の指定に関する手引き」の中に、民間施設の指定等について記載されている。岩沼市でも検討すべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(3) 阿武隈川の堤防が決壊した場合を想定して、市内の高層階のビル（マンション・事業所等）を、緊急の避難場所として検討すべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(4) 県では、想定総雨量を2倍に引き上げたことで、堤防決壊や内水被害等の危険度も上がると考えられる。既存の避難場所以外にもより安全な場所を検討すべきと思うが、考えを伺う。</p>	市 長
-----	---	---------	--	-----